

380-1878試験：リトナビルを併用するPIベースのARTによりウイルス学的抑制が得られている患者におけるBIC/FTC/TAFへの切り替え

48週目 ↘

患者：

- リトナビル (rtv) を併用するDRVまたはATV+NRTI 2剤 (ABC/3TCまたはFTC/TDF) 投与中に6か月以上HIV-1 RNA量<50コピー/mL
- eGFR $\geq$ 50 mL/分
- N = 577

BIC/FTC/TAFへ切り替え
(n = 290)**rtvを併用するPI+NRTI 2剤レジメンを継続**
(n = 287)

- 多施設共同非盲検無作為化第III相試験
- 48週目のHIV-1 RNA量 $\geq$ 50コピー/mL（主要評価項目、FDAスナップショット）：
両群ともに1.7%、48週目の治療差は切り替えが非劣性であることを示した。
- 48週目のHIV-1 RNA量<50コピー/mL（副次評価項目）：
BIC/FTC/TAF 群 92.1%、ベースラインART継続群 88.9%
（差：3.2%、95%CI：-1.6~8.2%）